

森林空間利用の「エビデンス」 と「社会実装」の状況

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所

チーム長（森林空間利用推進担当）

たかやま のりまさ

高山 範理

神奈川県森林協会森林空間利用研修
波止場会館4階大会議室1, 2

自己紹介



1972年生・埼玉県出身
東京大学大学院・人間総合科学大学大学院 修了
Doctors：博士（農学）×博士（心身健康科学）

□ キャッチコピー

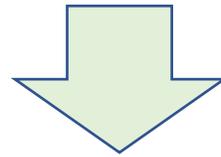
森林空間利用の研究者。心理学的なアプローチから
快適・健康・幸福をキーワードに“もり”と“ひと”を繋ぎます。

- 2002年～森林総合研究所
- 2019年～「森林サービス産業」エビデンス専門部会 委員
- 2021年～「森林サービス産業検討委員会」（健康分野）委員
- 2022年～森林管理研究領域 チーム長（森林空間利用推進担当）
- 東京大学（2014年～）・筑波大学（2015年～）非常勤講師
- NPO法人ジャパン・フォレスト・フォーラム 顧問（2014年～）

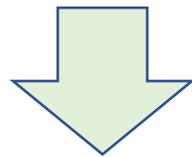


本日の流れ

1) **森林空間利用**：森林浴から森林セラピーへ



2) 「**森林サービス産業**」の誕生



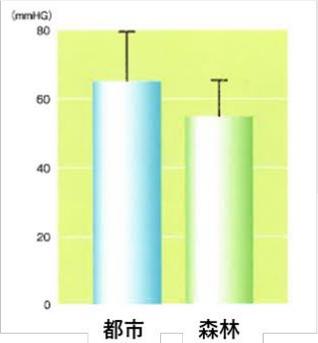
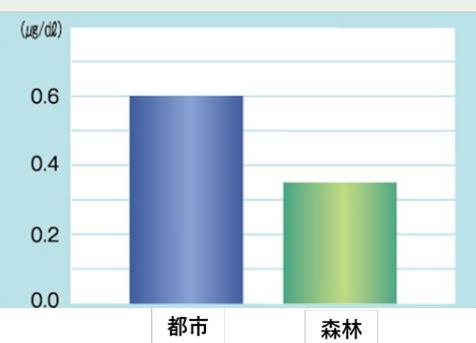
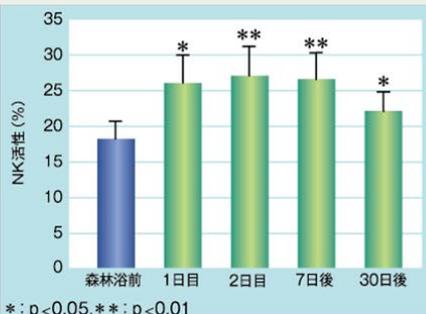
3) **社会実装の状況**

※ 「森林サービス産業」のうち主に健康分野の取り組みについてお話いたします。

1) 森林空間利用：これまでの森林空間利用について



1) 森林空間利用：森林浴から「森林サービス産業」への流れ

時期・用語	特徴																								
<p>1982年～ 「森林浴」</p> <p>概念誕生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● リラックス効果がある「フィトンチット」を含む森林の物理的特性に着目 ● 全国の「自然休養林」「森林総合利用施設（森林公園・市民の森等）」等としてフィールド整備・活用を促進 ● 林野庁・関係団体等が推進 ● 森林浴の森「日本100選」（全国に100か所・1986年～） 																								
<p>2004年～ 「森林セラピー」</p> <p>科学的効果の検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 測定機器等の発展を踏まえて、森林への滞在・歩行の心理・生理的エビデンス取得を促進。 ● 既存施設等を「森林セラピー基地」「セラピーロード」として認定 ● 林野庁・関係団体等が推進し、研究会では厚生労働省と連携 ● エビデンス取得・実践では、医学系研究者等を中心に連携 ● 森林セラピー基地・ロード（全国に64か所・2005年～） <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="631 925 1031 1006"> <p>森林内でのリラックス効果 (血圧低下)</p>  <table border="1"> <caption>森林内でのリラックス効果 (血圧低下)</caption> <thead> <tr> <th>環境</th> <th>血圧 (mmHG)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都市</td> <td>~68</td> </tr> <tr> <td>森林</td> <td>~55</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1108 925 1508 1006"> <p>ストレスホルモンの減少 (唾液中コルチゾール濃度)</p>  <table border="1"> <caption>ストレスホルモンの減少 (唾液中コルチゾール濃度)</caption> <thead> <tr> <th>環境</th> <th>コルチゾール濃度 (µg/dL)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都市</td> <td>~0.6</td> </tr> <tr> <td>森林</td> <td>~0.35</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1625 925 2051 1006"> <p>森林浴が免疫能に与える効果 (NK活性の上昇・継続)</p>  <table border="1"> <caption>森林浴が免疫能に与える効果 (NK活性の上昇・継続)</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>NK活性 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林浴前</td> <td>~18</td> </tr> <tr> <td>1日目</td> <td>~26*</td> </tr> <tr> <td>2日目</td> <td>~27**</td> </tr> <tr> <td>7日後</td> <td>~26**</td> </tr> <tr> <td>30日後</td> <td>~22*</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	環境	血圧 (mmHG)	都市	~68	森林	~55	環境	コルチゾール濃度 (µg/dL)	都市	~0.6	森林	~0.35	時期	NK活性 (%)	森林浴前	~18	1日目	~26*	2日目	~27**	7日後	~26**	30日後	~22*
環境	血圧 (mmHG)																								
都市	~68																								
森林	~55																								
環境	コルチゾール濃度 (µg/dL)																								
都市	~0.6																								
森林	~0.35																								
時期	NK活性 (%)																								
森林浴前	~18																								
1日目	~26*																								
2日目	~27**																								
7日後	~26**																								
30日後	~22*																								

資料：千葉大学 朴範鎮・宮崎良文

資料：千葉大学 朴範鎮・宮崎良文

資料：李卿「森林浴が生体免疫機能を高める」
日本衛生学雑誌62(2)

1) 森林空間利用：森林セラピー関係研究（メンタルヘルス系）の論文数と引用

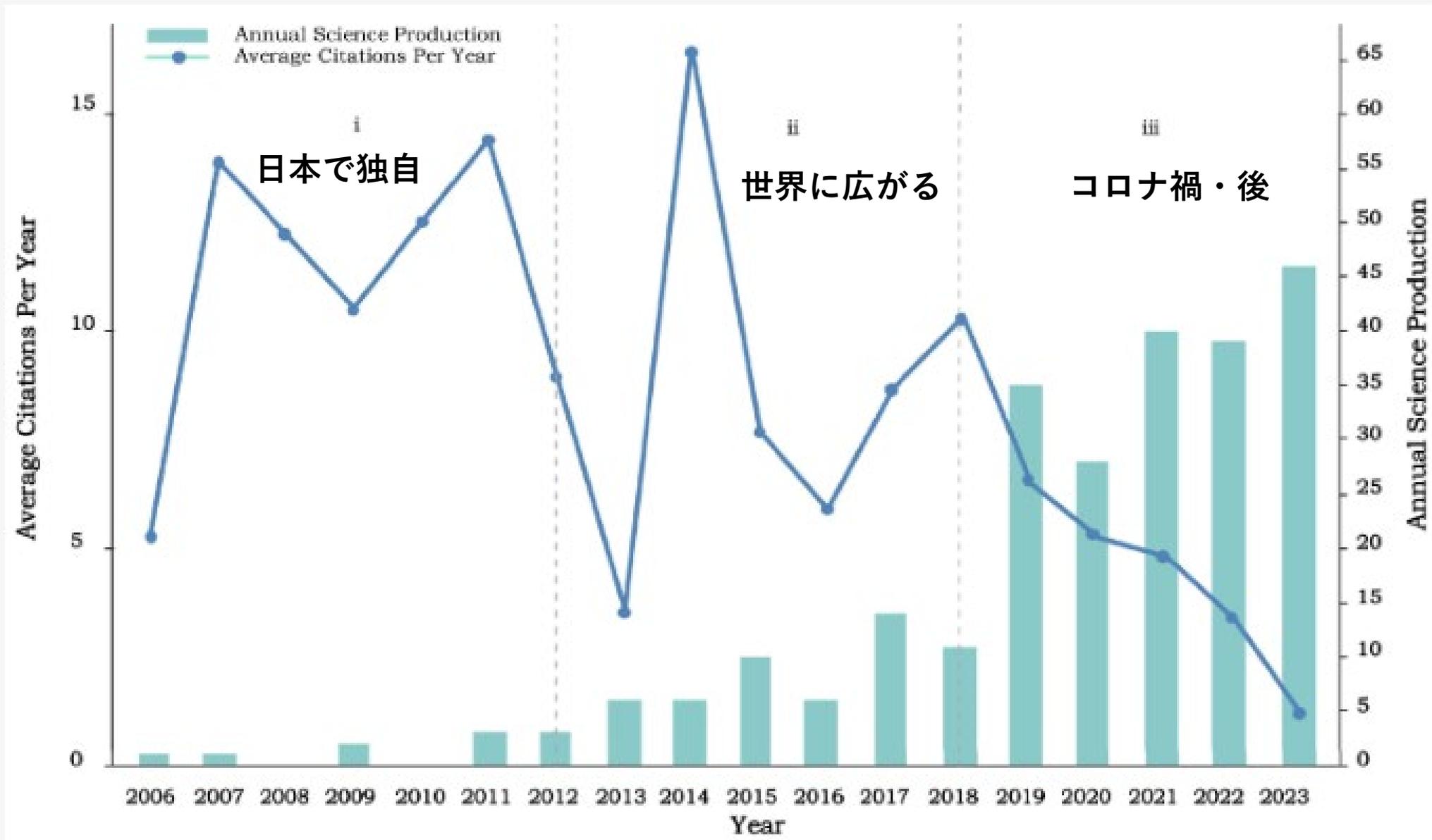
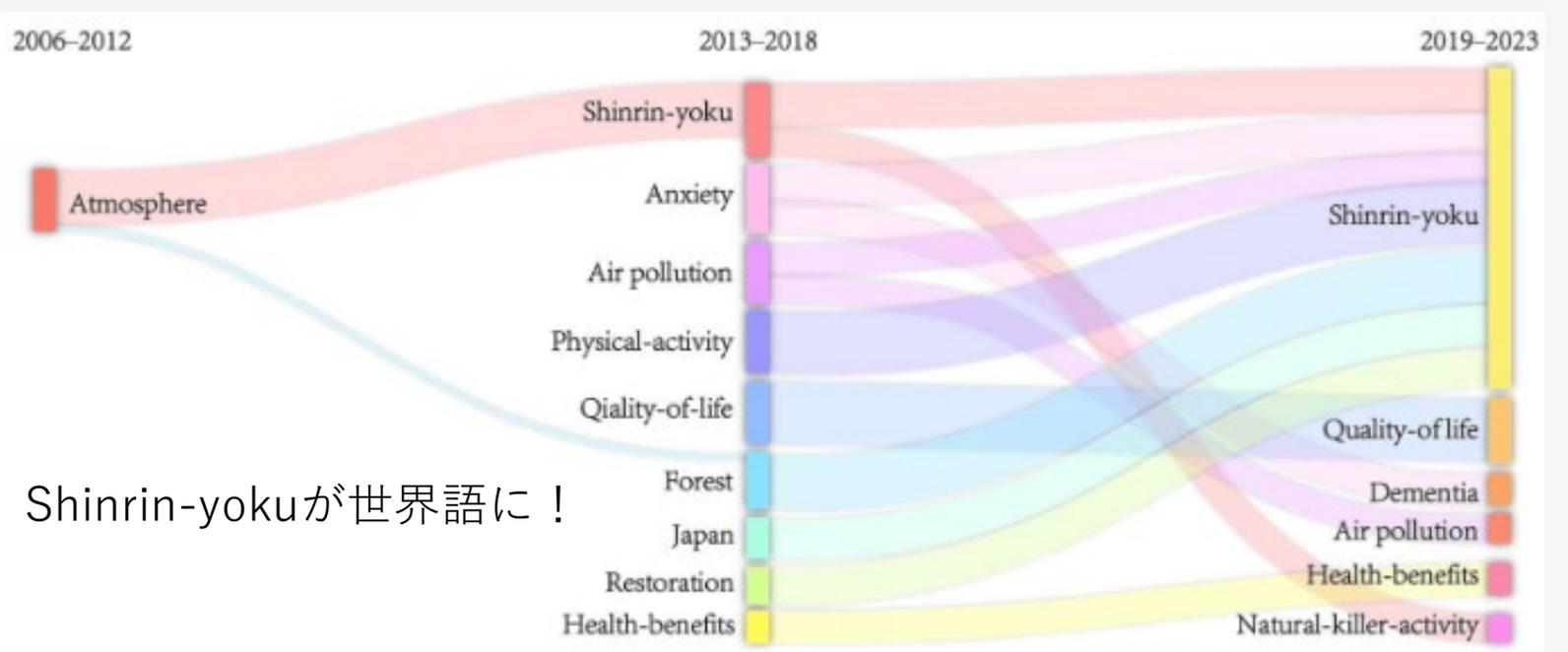


図 研究の論文数と引用の数

Wan R, et al.(2024) Progress and Prospects of Research on the Impact of Forest Therapy on Mental Health: A Bibliometric Analysis. *Forests.*; 15(6):1013.

1) 森林空間利用：森林セラピー研究の広がり方・世界語となったShinrin-yoku



Shinrin-yokuが世界語に！

Wan R, et al.(2024) Progress and Prospects of Research on the Impact of Forest Therapy on Mental Health: A Bibliometric Analysis. *Forests.*; 15(6):1013.

1) 森林空間利用：世界で広がる森林セラピーのエビデンスの蓄積

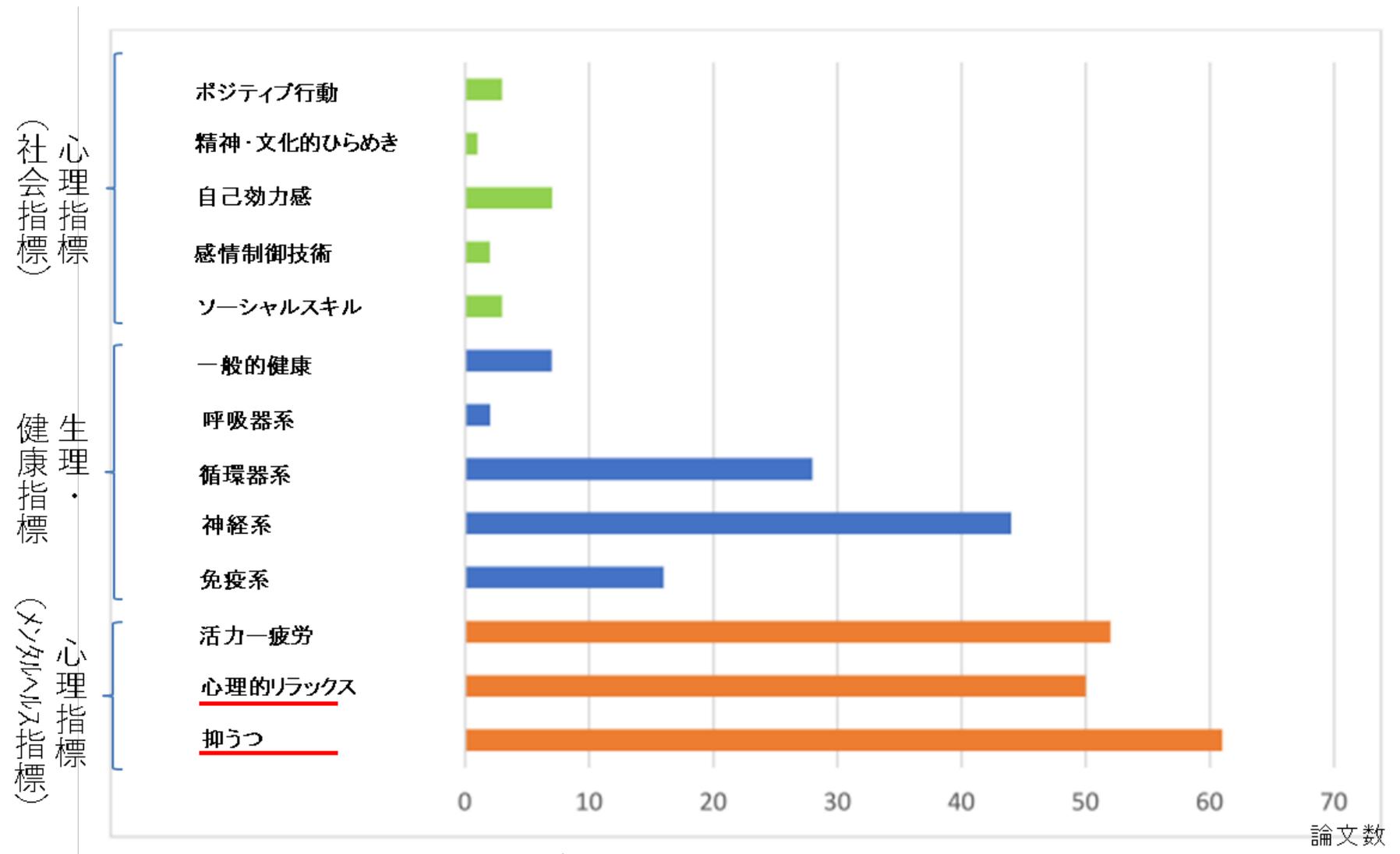
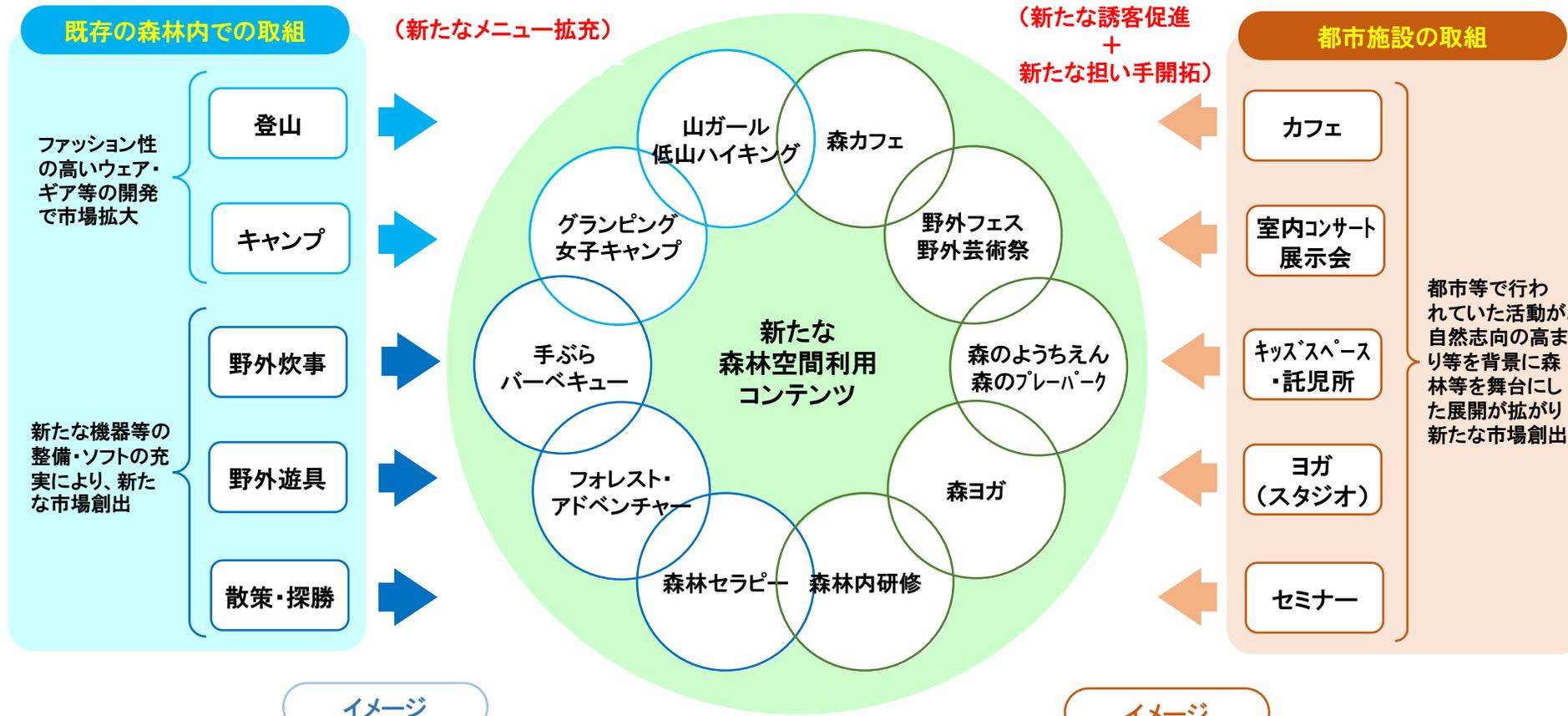


図 2019年までに行われた自然空間と癒し・健康に関わる主な実証研究

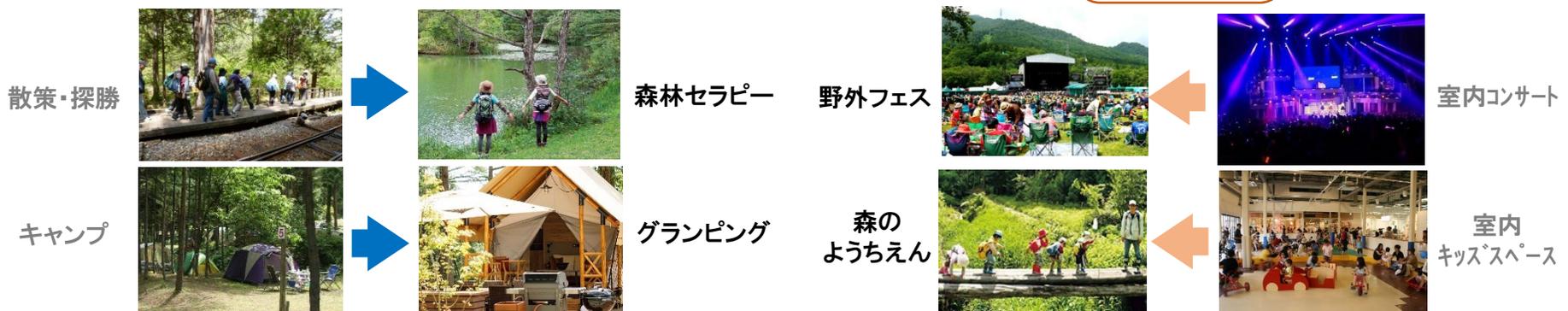
2) 「森林サービス産業」の誕生：新たな『森林空間利用』の取組の拡がり



都市等で行われていた活動が、自然志向の高まり等を背景に森林等を舞台にした展開が拡がり新たな市場創出

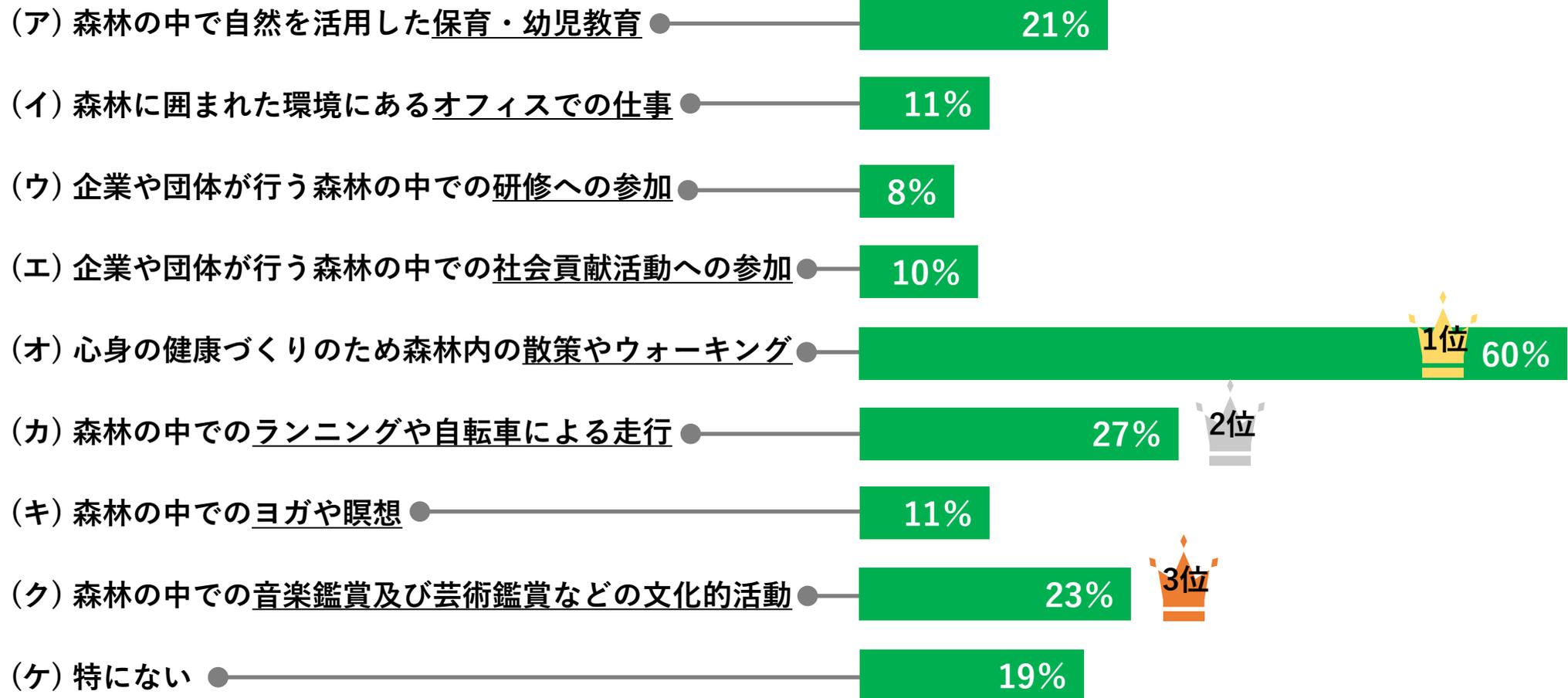
イメージ

イメージ



2) 「森林サービス産業」の誕生：日常生活での森林空間利用について

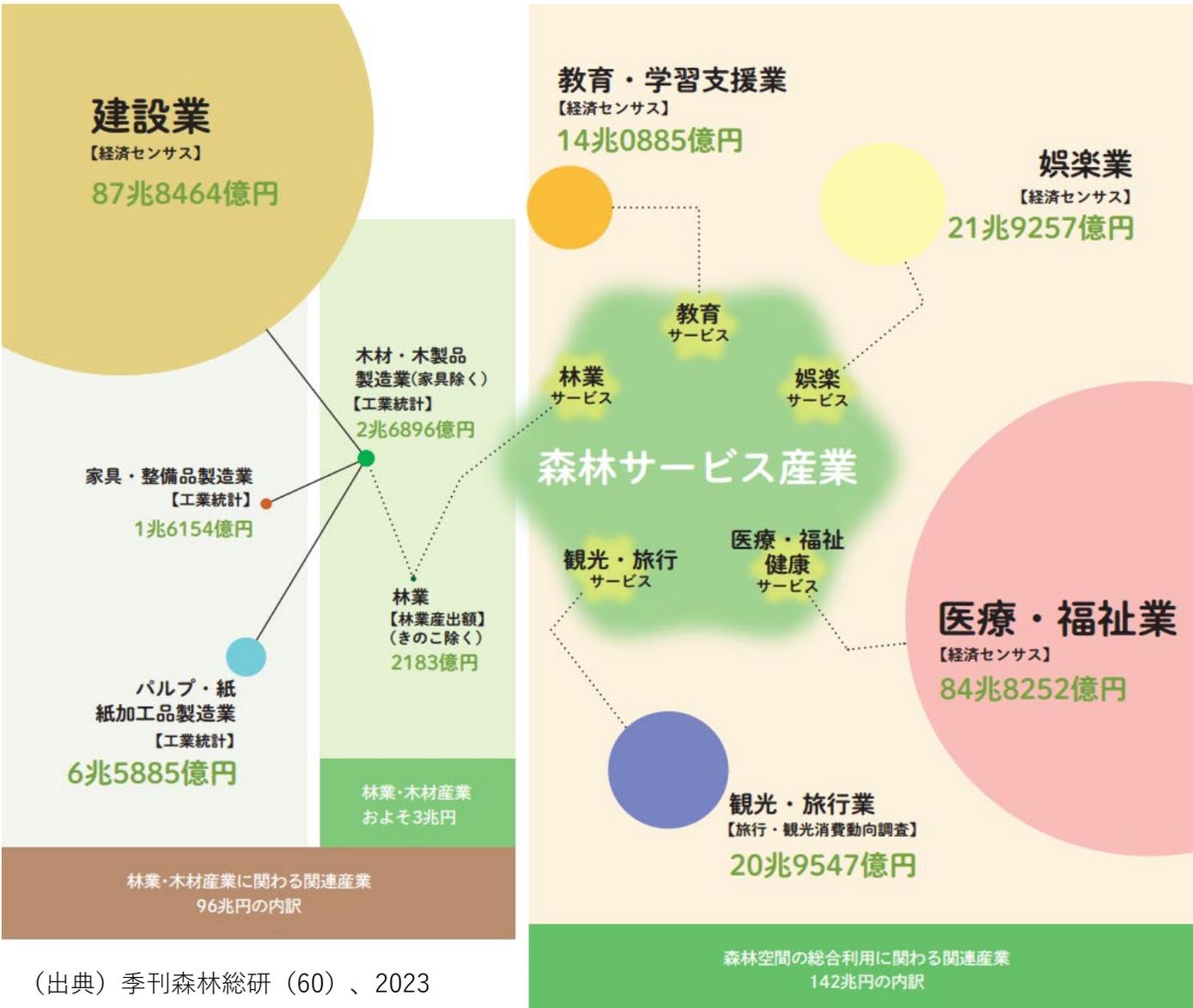
(問) 日常の生活の中で、森林でどのようなことを行いたいですか（いくつでも）。



(出典) 内閣府「森林と生活に関する世論調査」(令和元年10月調査)

健康分野をはじめ「森林空間の日常利用」に対するニーズは高い

2) 「森林サービス産業」の誕生：森林空間利用×産業＝「森林サービス産業」の可能性



(出典) 季刊森林総研 (60)、2023

図 「森林サービス産業」の可能性

2) 「森林サービス産業」の誕生：「森林サービス産業」の提案

これまでのハード整備が中心で、公共サービスとしてのプログラムが中心であった「森林総合利用」を、健康・教育・観光等の領域に対応させ、関連分野の課題解決に貢献する良質なサービスとして成熟させて「サービス産業化」を促進

これまでの森林空間利用

山や森林に関心のある個人やグループなどが非日常を楽しむものが主体



キャンプ

登山



自然探勝

経済波及効果が限定的

新たな森林空間利用「森林サービス産業」の提案

幼児期から老年期に至るライフステージ毎に、ワーク（仕事・学業等）とライフ（生活・余暇等）のシーンに合わせて森林空間を活用



様々な業界を巻き込んだ森林空間利用

ガイド等による良質なサービス

- 企業の社員やその家族向けに、森林セラピー等を活用したプログラムやサービスを提供
- 社員研修・テレワーク導入企業向けに、森林での研修プログラムを提供
- 子ども向けや家族向けに、森林空間を活用した教育サービスを提供

山村地域での周辺サービス



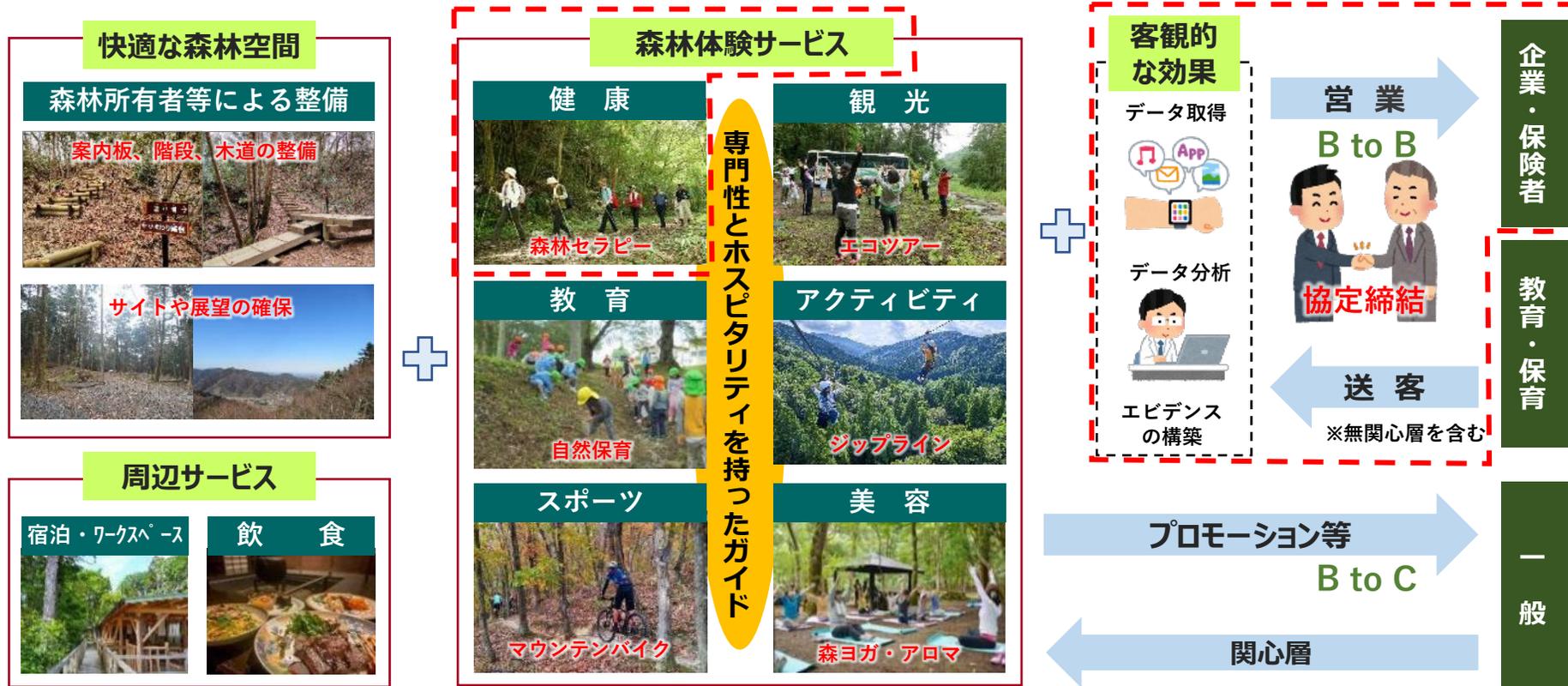
山村地域に新たな雇用と収入機会を創出

2) 「森林サービス産業」の誕生：森林空間利用に関わる代表的なエビデンス（2019年度の時点）

分野	測定指標	代表的なエビデンス【エビデンスレベル】
心と身体の健康づくり	循環器系	●森林での過ごし方に関わらず、血圧降下効果や脈拍減少効果が期待できる【Ⅰ】 ○森林浴が慢性心不全患者の補助療法として有用である可能性【Ⅱ】 ○森林歩行で動脈硬化指標や呼吸機能が有意に向上【Ⅱ】
	自律神経系	●森林では、座観によってリラックス効果が高まった【Ⅲ】 ○森林で過ごすことによって、慢性広範囲疼痛患者のリラックス効果を確認【Ⅲ】
	免疫系	○竹林で3日間過ごすことで、免疫力が上昇【Ⅱ】
	内分泌系	○森林浴によってコルチゾール（ストレスホルモン）レベルが短期間低下【Ⅰ】
	脳神経系	○竹林を歩行中の脳波では、リラックスし注意度が高まった【Ⅲ】 ○森林を眺めることによって、リラックス効果を確認【Ⅲ】
	炎症反応・酸化ストレス	○森林浴によって、一部の酸化ストレスマーカーが減少【Ⅱ】 ○森林浴によって、一部の炎症性サイトカインが減少【Ⅲ】
	その他の身体反応	○緑地で過ごすことにより心血管疾患や糖尿病、脂質異常、喘息などの発生率が減り、健康上の利点が見られることが示されたが、研究の質が低い論文もあり、慎重に解釈する必要がある。【Ⅰ】
	気分の改善効果	●森林浴において森林風景の存在が気分の改善効果等に重要な影響を与える【Ⅲ】
	感情の改善効果	●森林滞在後にネガティブな感情が低下し、ポジティブな感情が上昇【Ⅲ】
	心理状態の回復	○森林での滞在後に心理状態が回復し、それは冬季の森林浴であっても有益【Ⅲ】
	気分障害・不安障害	○森林浴を認知行動療法の一環に用いることで大うつ病患者の気分等が改善【Ⅱ】 ○短期間の森林環境における滞在は疲労障害の改善に有益である可能性【Ⅲ】
	健康感・回復感等	○認知行動療法を用いた森林浴プログラムを実施したことで幸福感(QOL)が上昇【Ⅲ】
社員研修	○自然環境での冒険教育プログラムは若者の精神的健康を促進【Ⅱ】	
ワーケーション等	○自然環境で過ごすことにより創造性が改善【Ⅱ】 ●自然環境において都内オフィスよりもクレペリンテストの平均回答数が高まる【Ⅲ】	

2) 「森林サービス産業」の誕生：「森林サービス産業」モデル事業（令和2～4年度）

- 令和2～4年度に林野庁補助事業により、「森林サービス産業」モデル地域（健康経営）が選定（13箇所）。
- モデル地域では、プログラム開発・エビデンス取得・企業等へのプローション等を支援。（□ □ □内）
- 多様なウェアラブルデバイスを活用して、健康経営目線のエビデンスを蓄積。



マインドスケール



シャオミ Band4



睡眠センサシステム



感性アナライザ



カシオ



My Beat



(資料) 林野庁資料を加筆

2) 「森林サービス産業」の誕生： モデル地域におけるプログラム開発・エビデンス取得事例（富士宮市の場合）

○ 富士山の森と水の恵みを活かした体験・学習・ワークショップを通じて、行動変容に繋がるプログラムの開発等を目指す。

モニターツアーの概要

実施日：2021年12/4（土）～5（日）

参加者：企業・行政等の健康担当、
産業保健スタッフ等（12名）

プログラム：

【1日目】

○開会&アイスブレイク

①猪之頭湧水巡り E-Bike ツアー

②ハーブウォーターづくり

○夕食（富士山ヘルシー弁当）

③ヘルスセミナー

「自然を生かした予防健康づくり」
（山本竜隆氏／朝霧高原診療所）

○焚火カフェ

【2日目】

④早朝ご来光&リラックスウォーク

○朝食

⑤A／源流ウォーク&マインドフルネス

⑥B／里山テントサウナ

○ヘルシーランチ

⑦ふりかえり&日常の行動計画づくり

○ディスカッション

○クロージング

①猪之頭湧水巡り E-Bike ツアー



②ハーブウォーターづくり



③ヘルスセミナー



④早朝ご来光&リラックスウォーク



⑥里山テントサウナ



⑤源流ウォーク&お気に入りの森でのマインドフルネス



⑦日常の計画づくり



2) 「森林サービス産業」の誕生： モデル地域におけるエビデンス結果 (富士宮市の場合)

- 主観的回復感やネガティブ感情、人生満足度や主観的な不眠状態が改善し、交感神経活動が低下傾向にあり、1か月後も効果が持続
- 初日は五感での実体験、講義・生理測定等で森林活用の意義を理解し、2日目には日常への持ち帰りを意識した導入体験・活動計画づくり、終了後もアロマウォーター・写真送付等のフォローアップの仕組み等により、効果が持続したことが推察

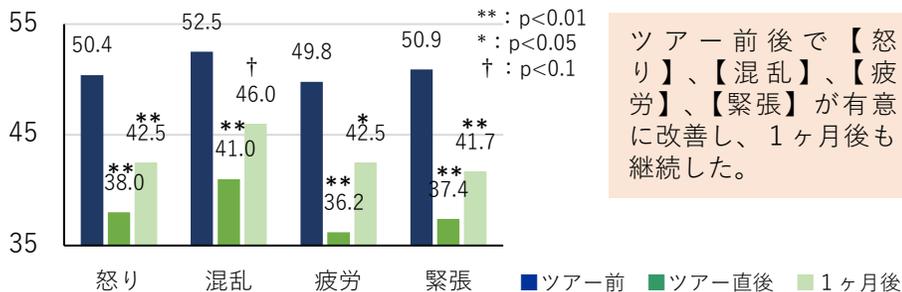
モニターツアーの概要

実施日：12/4 (土) ~5 (日)
参加者：首都圏及び市内外企業及び行政の健康分野担当の職員、産業保健スタッフ等 (12名)
測定時期：生理測定/カシオ デバイス装着 (12/2~1/6)
 心理測定/スマートフォン回答 (12/2~2/6)
測定手法：ROS、POMS 2、SWLS、OCS (職業コミットメント尺度)、アテネ不眠尺度、心拍数、交感/副交感神経活動、睡眠の質

ROS (主観的回復感)



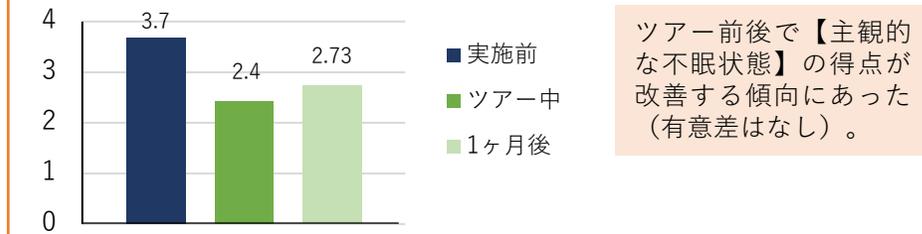
POMS2 (気分プロフィール)



SWLS (人生満足度尺度 : Well-being)



アテネ不眠尺度



LF/HF (交感神経活動)



2) 「森林サービス産業」の誕生:

「森林サービス産業」モデル事業で得られたエビデンス (全国13地域)

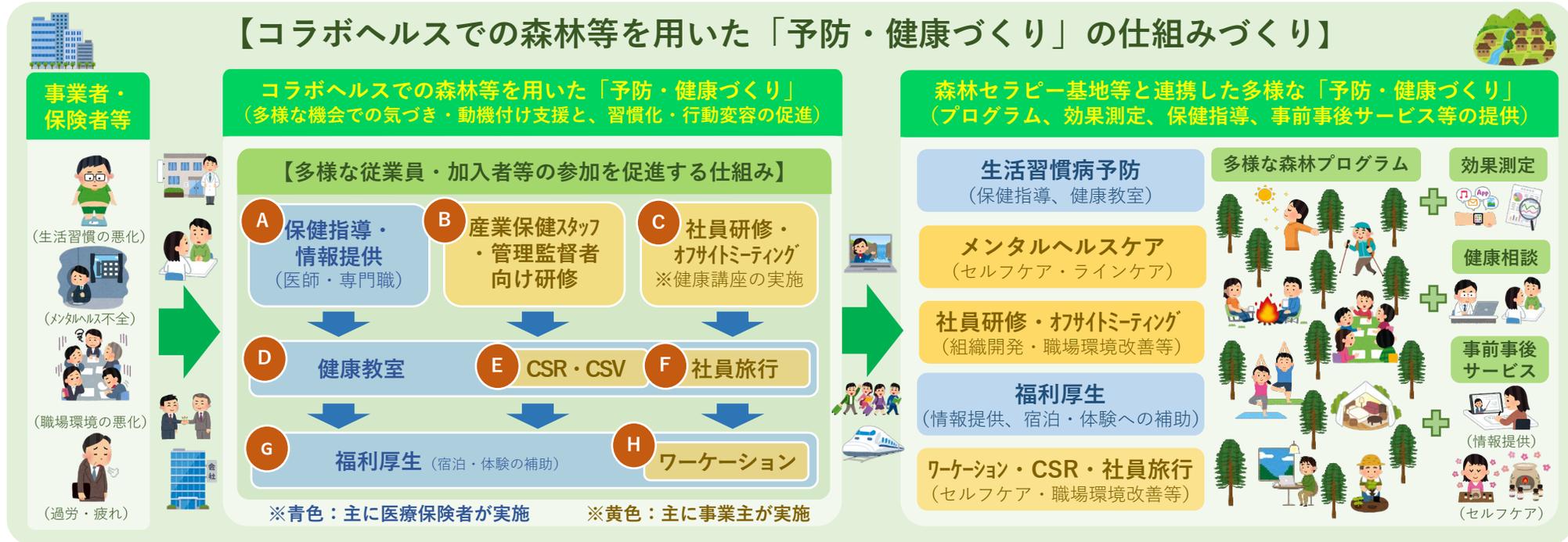
区分	測定指標	評価	評価の概要
精神心理的健康及び幸福感	POMS2 (Profile of Mental Status 2) 自覚的健康状態 (Visual Analog Scale 0-10) 主観的回復感 (Restorative Outcome Scale 日本語版)	ポジティブ感情の改善	<ul style="list-style-type: none"> 多くの地域 (8 地域) でポジティブ感情が向上し、1ヶ月 (富士宮市)、6週間後 (安芸太田町)、2ヶ月 (小海町・木曾町) 持続した場合もあった
	POMS2 (Profile of Mental Status 2) 状態不安尺度 (State-Trait Anxiety Inventory-S) 抑うつ不安尺度 (K6質問票) 脳波感性値	ネガティブ感情の改善	<ul style="list-style-type: none"> 多くの地域 (9 地域) でネガティブ感情が改善、1ヶ月 (富士宮市)・4か月後 (宍粟市) まで持続。 波計からストレス度が改善 (宍粟市)
	人生満足度尺度 (Satisfaction With Life Scale)	人生満足度の改善	<ul style="list-style-type: none"> 人生満足度が改善 (飯山市)、1 カ月後 (富士宮市)、2 か月後 (木曾町) も定着する可能性
自律神経のバランス	自律神経バランス (LF/HF) HF (副交感神経活動)	交感神経活動が改善	<ul style="list-style-type: none"> 交感神経活動が改善 (智頭町・安芸太田町)、1 週間後まで効果が持続 (富士宮市)
睡眠状態	アテネ不眠尺度 (Athens Insomnia Scale) 生体センサ (睡眠時間、深睡眠割合) セントマリー睡眠質問票	睡眠状態が改善 ・深睡眠が増加	<ul style="list-style-type: none"> 主観的な睡眠状態が改善 (上松町)、3 週間後 (多可町)、1 ヶ月後 (富士宮市)、2 か月後 (木曾町・飯山市) まで効果が持続する可能性 生体センサで深睡眠割合が改善 (上松町・白川村・木曾町)、2 か月後も持続する可能性 (白川村)
生産性	内田クレペリン検査 職業コミットメント尺度 (Occupational Commitment Scale) 脳波感性値	生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ツアー実施後に回答数が改善の可能性 (小海町・富士宮市) 脳波計から興味度が向上 (宍粟市)
生活習慣	オリジナルの行動変容尺度	生活習慣が改善	<ul style="list-style-type: none"> 運動・瞑想・自然訪問・リラックス・睡眠・食習慣等がツアー後に改善し、3 週間～4 か月後まで持続する可能性 (小海町・飯山市・宍粟市・木曾町・多可町)

(資料) 林野庁資料をもとに作成



2) 「森林サービス産業」の誕生： 「森林サービス産業」モデル事業の成果（まとめ）

- 企業の健康経営における「森林サービス産業」は、以下のようにコラボヘルスでの多様な施策での展開が想定
- 「森林サービス産業」モデル地域のプログラムの志向性を概観すると、多様な嗜好性のプログラムが3年間で開発された。



令和2年度	タイプ
山形県上山市	D・F
長野県上松町	A・D
長野県小海町	H
長野県信濃町	G

令和2年度	タイプ
岐阜県白川村	A・C
和歌山県田辺市	E・H
鳥取県智頭町	C

令和3年度	タイプ
長野県飯山市	D・G
静岡県富士宮市	B・D
兵庫県宍粟市	F・G

令和4年度	タイプ
長野県木曾町	D・G
兵庫県多可町	A・D
広島県安芸太田町	G・H

3) 社会実装の状況：「森林サービス産業」の導入・実装にあたって

ランキングに見る日本の評価	
GDP	3位 (世界銀行) 20位/一人当たり
	47位 (137カ国・地域)
ジェンダーギャップ	125位 (146カ国・地域)
平均賃金	26位 (OECD 39カ国・地域)
	4位 (OECD 39カ国・地域)

出典：アベマTVの整理による

当道府県別の幸福度

都道府県・幸福度ランキング (単位:点)			
順位		都道府県	幸福度(点)
24年	23年		
1	1	沖縄県	72.2
2	5	大分県	70.8
3	7	宮崎県	69.9
4	15	和歌山県	69.6
5	19	福井県	69.0
46	25	大阪府	60.6
47	22	神奈川県	60.2
都道府県平均			65.9

ブランド総研、2024
各n=1,000, 5段階評価

- ・ 少子高齢化の進展に伴って、国内全体が色々と元気がない！
- ⇒ 森林環境を使って、国民を癒し、幸福にできないか？
- ⇒ 地域経済に貢献できれば、移住者や関係人口を増やしていくことに繋がる
- ⇒ 「林業」か否かの選択ではなく、併存できる産業があれば貢献できそう
- ⇒ 「森林サービス産業」の社会実装が求められているのでは？ (A:幸福度・自殺率)

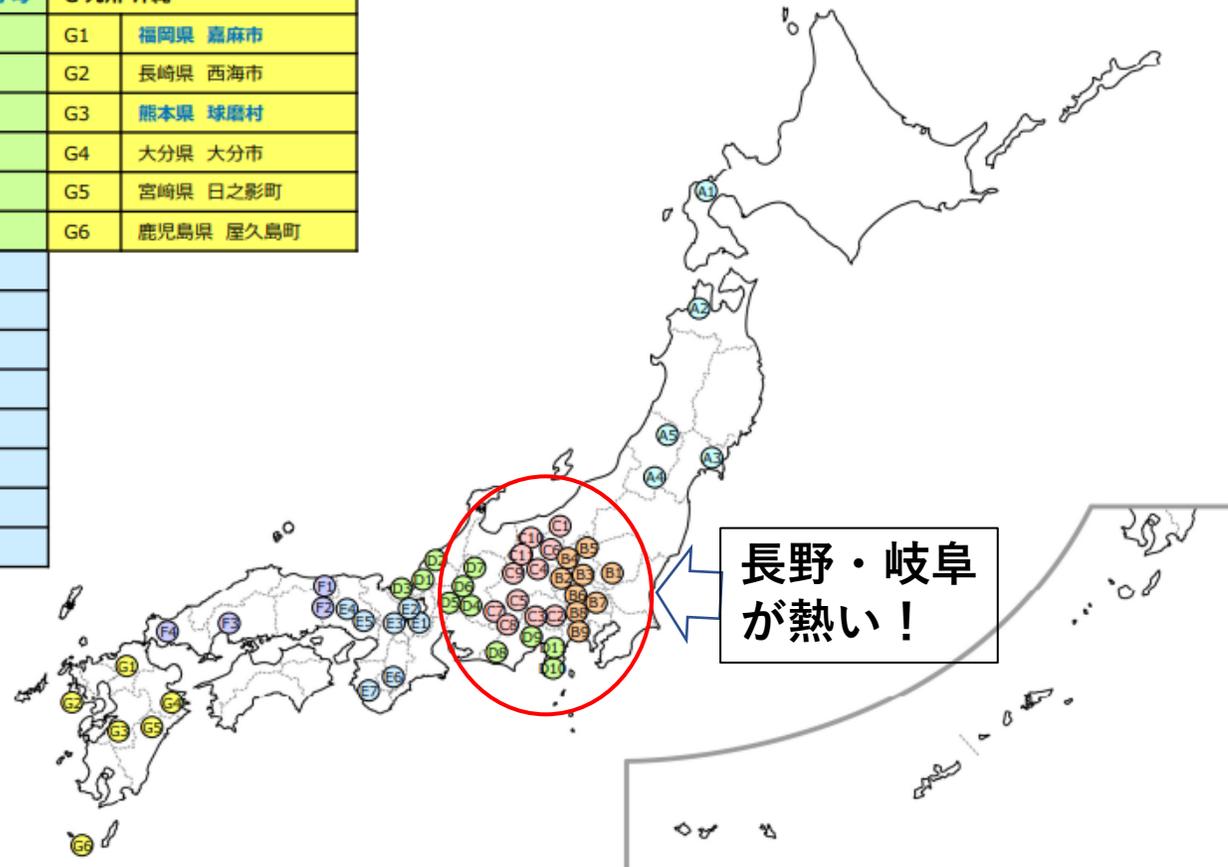
3) 社会実装の状況：「森林サービス産業」推進地域の分布（53地域）

森林サービス産業推進地域

A 北海道・東北		D 東海・北陸		F 中国・四国	
A1	北海道 黒松内町	D1	福井県 福井市	F1	鳥取県 智頭町
A2	青森県 五所川原市	D2	福井県 越前町	F2	岡山県 西粟倉村
A3	宮城県 南三陸町	D3	福井県 坂井市	F3	広島県 安芸太田町
A4	山形県 上山市	D4	岐阜県 中津川市苗木	F4	山口県 長門市
A5	山形県 最上町	D5	岐阜県 中津川市加子母	G 九州・沖縄	
B 関東		D6	岐阜県 郡上市	G1	福岡県 嘉麻市
B1	栃木県 茂木町	D7	岐阜県 白川村	G2	長崎県 西海市
B2	群馬県 上野村	D8	静岡県 浜松市	G3	熊本県 球磨村
B3	群馬県 神流町	D9	静岡県 富士宮市	G4	大分県 大分市
B4	群馬県 長野原町	D10	静岡県 下田市	G5	宮崎県 日之影町
B5	群馬県 みなかみ町	D11	静岡県 伊豆市	G6	鹿児島県 屋久島町
B6	埼玉県 飯能市	E 近畿			
B7	埼玉県 北本市	E1	滋賀県 栗東市		
B8	東京都 奥多摩町	E2	滋賀県 高島市		
B9	神奈川県 小田原市	E3	京都府 南丹市		
C 甲信越		E4	兵庫県 穴栗市		
C1	新潟県 妙高市	E5	兵庫県 多可町		
C2	山梨県 都留市	E6	奈良県 下北山村		
C3	山梨県 小菅村	E7	和歌山県 田辺市		
C4	長野県 須坂市				
C5	長野県 伊那市				
C6	長野県 飯山市				
C7	長野県 小海町				
C8	長野県 根羽村				
C9	長野県 上松町				
C10	長野県 木曾町				
C11	長野県 信濃町				

(令和6年6月末時点 全国で53地域)

(青字：紹介シートあり)



(資料) 林野庁資料に加筆

3) 社会実装の状況：長野県での「森林サービス産業」の実装・普及に向けた動き

～信濃毎日新聞創刊150周年記念広告特集「信州 健康長寿研究室」(2023年7月5日)～



長野県においては、これまで地域の自主的な健康づくり活動や医療機関による保健活動が推進 されるきっかけづくりや、適切なストレス対処法を身に付ける支援等が求められています。

- 県が中心となり、
- ・各地で「オープンラボ」を開催
 - ・創業・活動支援
 - ・地域コーディネータの育成 など

長野県内 森林セラピー拠点等 MAP

森林の癒し機能を活用してストレスの解消や健康増進等の活動を展開するための「森林セラピー基地」「セラピーロード」として、全国で63か所が(特非)森林セラピーサエティにより認定を受けています。このうち、長野県内では10箇所が認定を受け、全国に誇れる森林セラピー拠点としての注目を集めています。

【北信】 飯山市「心のふるさと」信州いいやま～母の森・神の森～
信濃町「信州・信濃町「癒しの森」～失われた時間を取り戻す町～」
木島平村「麗しき風木堂の息吹潤いの小径～
ブナ原生林カヤの平高原～」
山ノ内町「うるわしの森志賀高原～木漏れ日に抱かれて～」

【東信】 佐久市「佐久市癒しの森～healing～」
【中信】 小谷村「くろぎの森～おたり森林セラピーロード～」
上松町「森林浴発祥の地木曾上松・赤沢自然休養林」

【南信】 南箕輪村「～癒しの森～信州大芝高原みんなの森」
松川町「まつかわの里～およりの森～」
阿智村「へアンスそのはらセラピーロード」

【長野県林務部】 森林セラピー拠点等の
【長野県林務部】 森林セラピー基地等一覧
【中部森林管理局】 国有林お散歩MAP

東御市

子どもからシニアまで 森林と標高差を活かした健康づくり

◆地域の取組概要
東御市は、アクセスの良い約1500mの標高差と、南向き斜面の豊かな森林資源を特徴とする地域であり、歴史ある湯の丸スキー場に加えて、近年は湯の丸エリアに国内屈指の高地トレーニング環境が整備され、アスリート支援から市民の健康づくり・ヘルスツーリズムの活用まで、取り組みが進んでいます。また、子育て・子育て支援と世代間交流を目的とした「里山探検」活動にも力を入れており、幅広い世代の方々に親しまれて10年以上にわたる活動が定着しています。

◆プログラムの特徴
里山探検は、子どもへの教育効果に加えて、活動を支えるボランティア(中高年齢者)の主観的健康度の改善が実証されました。加えて、気候性地形療法を基本とした「クアオルト健康ウォーキング」認定コースが市内2か所に整備され、市民活動とヘルスツーリズムの両面でこれから本格的に活用されるようになっていきます。

公益財団法人 身体教育医学研究所
TEL 0268-61-6148
営業日：月～金：9:00～17:00
里山探検 <https://gakuhiro.com>

小海町

Re・Designセラピーを活かした IT企業等のワーケーション

◆地域の取組概要
憩うまちこうみ事務局では、豊かな自然をもとにした独自のヘルスツーリズム Re・Designセラピーを構築。健康経営に関心を持つ都市部の企業等、24社 (R5年5月末時点)と協定を締結し、研修等と組み合わせ、利用いただいています。松原湖を拠点にセラピーウォークやヨガセラピー、焚火セラピー等を提供。冬には全面結氷する松原湖上で焚火クッキング等小海町ならではの体験も。湖畔には事業の拠点施設としてワークスペースを整備しており、IT企業を中心にワーケーションとしての活用も増加しています。

◆プログラムの特徴
これまでは企業単位の利用が主でしたが、昨年度は協定企業同士の交流を図り異業種ワーケーションも年に数回開催。今年度も開催予定。小海町でのワーケーションを通じた効果測定では活力感や睡眠状態、生産性へのプラスの効果が確認されました。

憩うまちこうみ事務局 (小海町役場 渉外戦略係)
TEL 0267-92-2525
月～金 8:30～17:15

信濃町

38の提携企業・団体、個人客も魅了する 森林セラピー先進地

◆地域の取組概要
生き生きとした自分を取り戻すために、森を歩きたい自分？
葉っぱや枝の鮮やかな香り、四季折々の色やせせらぎの音、木陰でひとり自分と向き合う時間…。町認定の森林メディカルトレーナーが、いま、ここだけの森のひとときをご案内します。経験豊富なベテランから30代の若手まで、個性豊かな30名以上のトレーナーが揃い、企業研修や学校教育、個人の方のリトリート、英語のご案内も可能です。

◆プログラムの特徴
日本初の森林セラピー基地「2つ星」であり、バリフリーロードのあるゆったりコース、自然を満喫する一日コースなど、3本のセラピーロードはどれも入口から病院まで車で10分圏内。アクセスも良く安心です。
令和2年度にはモデル地域に選ばれ、1泊2日の森ヨガツアーで気分状態が改善すること、親子の森林セラピーで子どものストレスが軽減されることが確認されました。

しなの町 Woods-Life Community
TEL 026-255-5925 (平日 9:00～17:00)
メール shinonomechi.wlc@gmail.com

木曾町

木曾馬×森林のヘルスツーリズム×発酵食

◆地域の取組概要
木曾町では標高1100mの開田高原エリアを中心に、木曾馬ふれあい体験や森林ウォーキング・森ヨガ、そして地元産の宿と連携して発酵食「すんき」を取り入れた食事を提供するなど、健康プログラムの開発・提供を行っています。森林ウォーキングは集落内を歩く平坦な里山コース、溪流や迫力ある滝が魅力の尾ノ鳥コース等々、参加者の目的に応じて多彩にコースが選択できます。

◆プログラムの特徴
令和4年度「森林サービス産業」モデル地域事業において、エビデンス取得モニターツアーを実施。当プログラムに参加し自覚の不眠症の方が半分に減少。プログラムに参加し生活習慣が改善され、2か月後も不眠改善傾向が見られました。
今後は企業・団体と連携し多くの働き盛り世代の参加を促し、「健康への気づき」をお持ち帰りしていただく。健康づくりの一歩となるよう取り組んでいきます。

一般社団法人 木曾おんたけ健康ラボ
TEL 0264-24-0870
開園期間：4月29日～11月7日
水曜日定休施設あり

上松町

県立木曾病院と挑む、森林浴発祥の地・赤沢自然休養林の健康増進

◆地域の取組概要
上松町の赤沢自然休養林は国内第1期の自然休養林として開園し、1982年に林野庁が提唱した「森林浴」の全国大会を初めて開催した場所です。樹齢350年前後の木曾ひのきを中心とした針葉樹の天然林で、初夏には爽やかなヒノキの芳香が楽しめます。赤沢自然休養林では県立木曾病院との連携事業を進め、「医師と歩く森林セラピーの森」森林浴と組み合わせ「森林セラピードック」や「森のお医者さん健康相談」などを実施し、附属看護専門学校では1学年で森林セラピーを学んでいます。

◆プログラムの特徴
赤沢自然休養林では美しい天然林の環境を活かし、日本医科大学や千葉大学と連携したエビデンス調査を行って、世界の「Shinrin-yoku」を牽引しています。これまでにリラックス効果や免疫機能の向上、メンタルヘルスの効果が実証されており、近年は海外からの来訪者も増加しました。

一般社団法人 上松町観光協会
TEL 0264-52-1133
開園期間：4月29日～11月7日
水曜日定休施設あり

3) 社会実装の状況：長野県での「森林サービス産業」の実装・普及に向けた動き



ナビゲーター養成講座とは？

峰の原高原では、心と身体の健康づくり・企業研修・ワーケーション等を行う「森と草原のリトリート」プログラムを市民やベンション宿泊者、企業向けに提供予定です。

4日間すべてのプログラムに参加することでナビゲーターの修了証が発行されます。ぜひ峰の原でガイドを目指してみませんか？

開催場所 時空の杜(そのもり)内 光の舟 ship
長野県須坂市仁礼字峰の原3153-3

持ちもの 山歩きができる服装・防寒具・飲み物・筆記用具

定員 15名
すべてのプログラムにご参加いただける方を優先いたします。一部日程が合わない場合、冬のプログラムとの組み合わせも可能です。

参加費 無料(食事・宿泊費は実費) ・昼食(1,500円/大人1名) ・夕食(3,500円/大人1名)

〈行程〉

- 10:30 オリエンテーション 前回の振り返り
- 11:00 講義「体験学習法を活かしたチームビルディング技術」
- 12:30 昼食
- 13:30 チームビルディングのプログラムデザインと指導法
- 16:45 企業研修プログラムづくり
- 17:45 夕食

企業研修 ～チームビルディング 10/19(土) 10:30～17:45



自然の中にあるものを使いながら、個人の内発的な学び・気づきを通してリーダーシップ開発等を促す方法を学びます。実際に自分たちも体験しつつ、企業研修プログラムをデザインします。

◆森和成氏
ライジング・フィールド 代表取締役
プロジェクトアドベンチャー協会 理事
軽井沢観光協会 副会長

◆橋詰 凌氏
Hippocampus 代表
NARD JAPAN 認定アロマアドバイザー
アロマ空間デザイナー・コーディネーター

高山 範理 (のりまさ) 氏
(森林環境の研究者/ (国研) 森林機構森林総合研究所
チーム長 (森林空間利用推進担当))



〈行程〉

- 10:30 オリエンテーション
- 11:00 講義「森林浴・森林ウォーキング」
- 12:00 昼食
- 13:00 森林浴・森林ウォーキングの指導法
- 15:00 クアオルト健康ウォーキング
- 17:00 講義「クアオルトと宿泊型保険指導」
- 18:15 夕食
- 19:30 講義「森林医学とエビデンス」
- 20:30 終了・交流会

身体の健康づくり ～森林ウォーキング 9/14(土) 10:30～20:30



生活習慣病などの予防とつながりのある森林ウォーキング法を理論をもとに実践、森林医学とそのエビデンスについても学習します。また、ドイツの保養地(クアオルト)で行われる気候性地形療法を基本としたウォーキング法も学びます。

◆住友和弘氏
東北医科大学 若林病院 総合診療科長
循環器内科兼務/病院教授(准教授)

◆大城 孝幸氏
日本クアオルト研究所 代表取締役

◆高山 範理氏
(国研) 森林機構森林総合研究所 チーム長

〈行程〉

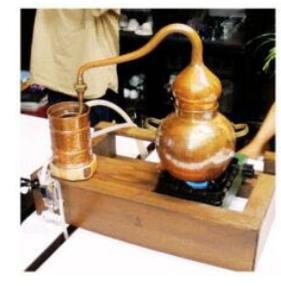
- 19:30 アロマセラピー・フィットセラピー概論
- 20:30 終了・交流会

3日目

- 8:45 峰の原の樹木を生かしたアロマセラピー
- 10:30 講義「マインドフルネスと森ヨガ」
- 12:00 昼食
- 13:00 マインドフルネスと森ヨガ
- 16:30 プログラムづくり 修了証 交付
- 17:30 終了

4日目

セルフケアスキル ～アロマセラピー・ヨガ 10/19(土)～20:30・10/20(日) 8:45～17:30



峰の原高原の植生を知り、それらを活かしてアロマセラピーやフィットセラピーを実施する方法を探ります。また、森林浴、ヨガ、マインドフルネスを融合させた「森ヨガ」の講義・実習を行います。

4日間の学びをプログラムに落とし込み、すべてに参加した方には修了証をお渡しします。

◆加々美 貴代氏
やまぼうし自然学校 代表理事
森林インストラクター

◆綿本 彰氏
日本ヨガ瞑想協会 会長
一般社団法人ワークフルネス 理事

研究所で唯一のドクターズ(博士(農学)/博士(心身健康科学))研究者として、心理学的なアプローチから快適・健康・幸福をキーワードに「もり」と「ひと」を築くため研究・調査活動を行う。東京大学・筑波大学講師。

著書に、「エビデンスからみた森林浴のストレス低減効果と今後の展開(新興医学出版社、2012)」、「森林アムニティ学(朝倉書店、2017)」など。

〈行程〉

- 8:45 講義「ストレスマネジメントと森林浴のプログラムデザイン」
- 10:00 森林浴のプログラムデザインと指導法
- 13:00 昼食
- 14:00 講義・演習「カウンセリング技術」
- 15:00 森と草原を活かしたプログラムづくり
- 17:30 終了

心の健康づくり ～森林浴 9/15(日) 8:45～17:30



森林浴とマインドフルネスの関連性や、メンタルヘルズ対策を意識した森林浴のプログラムづくりを学びます。カウンセリング技術も取り入れながら、峰の原高原の立地を活かしたプログラムを作成してみます。

◆木村 理砂氏
株式会社Momoウェルビーイング 代表取締役
医師/医学博士

◆河西 恒氏
信濃町森林メディカルトレーナー
しなの町Woods Life Community事務局
精神保健福祉士/産業カウンセラー

受講後の活動について

講座を受講した後は、研究会に入会してガイドとしての学びをより深めていきます。また、来年度以降の峰の原高原内でのプログラムづくり等を行います。

・「森と草原のリトリート」のガイドをやってみよう
・「森と草原のリトリート」プロジェクトの運営チームとして関わりたい方
・峰の原高原の自然の恵みを、自分自身や家族・友人の健康づくりに継続的に活かしたい方(近隣地域の方)のご参加・お問合せをお待ちしています。

〈応募方法〉申込フォームよりご登録ください
<https://forest-field.net/>
募集期間: 一次 2024年8月31日(土) まで
二次 2024年9月7日(土) まで

※宿泊施設・食事に限っては、事務局にて手配します。
※内容・時間は当日の天候により、入替や変更の可能性がございます。
※一部のプログラムのみへの参加は、締切段階で定員に余裕がある場合に受付いたします。恐れ入りますが事務局からの連絡をお待ちください。
※幼児・小学生向けの自然体験プログラムも用意しています。

《お問合せ》
信州・峰の原高原
森林サービス産業推進協議会
電話番号: 080-5389-2777 (担当: 野澤)
メール: info@forest-field.net
Webサイト: <https://forest-field.net/>

※森と草原のリトリートナビゲーター養成講座HPより引用

3) 社会実装の状況：岐阜県での「森林サービス産業」の実装・普及に向けた動き

～岐阜県では2024年度県下各地の森林が一体となり体験プログラムを提供する「ぎふ森の体験博覧会（もりはく）」を開催。県全域で森林サービス産業をテーマにイベントを開くのは全国初の試み（秋の2か月間）～

例：医師会等が参加した「岐阜市クアオルト協議会」

岐阜市クアオルト推進協議会

特徴 R1.7 岐阜市クアオルト推進協議会を**設置**
官民協働してクアオルト施策を推進する体制の構築

岐大医学部・岐阜市民病院	(公財)岐阜観光コンベンション協会
医師会	日本旅行業協会 (JATA)
岐阜商工会議所	長良川温泉旅館協同組合
協会けんぽ	岐阜女子大学
(株)十六銀行	(株)日本クアオルト研究所
岐阜県ウォーキング協会	

・クアオルト施策の推進のためには行政と方針を共有する**保健医療関係者**や**観光事業者**等による**取り組み**が**必要不可欠**

⇒ (具体的な取組)

森林空間や森林資源を活用した予防・健康づくりの有効性を確認する。

「岐阜市のクアオルト施策（令和3年10月）」より引用

岐阜県が中心となり152団体で2023年に「ぎふ森のある暮らし推進協議会」を設立。県内の「森林サービス産業」の推進を目指す動き官民で活発化。

同協議会と県が共催で県庁にて「**「森林サービス産業」特別セミナー**」が開催され、林野庁 **青山長官**が「**日本発祥の森林浴は世界から注目されており、今後は稼ぎや雇用を作っていくことが必要**」と述べた。



3) 社会実装の状況：岐阜県での「森林サービス産業」の実装・普及に向けた動き

ぎふ森フェス

GIFU MORI FES

【開催期間】9/28(土)～11/30(土)

はじまる。未体験が森と出会う

岐阜の豊かな森で過ごす体験プログラム

山歩き e-BIKE 森林浴 森林アスレチック 森ヨガ
木エクラフト 草木染め キャンプ シビエ 森づくり

体験プログラム一覧

岐阜県	各務原市 1日限定!木曾川流域を知るガイドワークとヒノキの著作	多治見市 [1日限定]第16回森わら祭り2024
	山県市 小さな世界をのぞく「葉っぱのかたちの虫めがねづくり」	中津川市 東濃ひのきマイ著作体験(お土産付)
	山県市 里山トレッキングと音箱づくりなど	中津川市 森の恵みを使ったネイチャークラフトと五平餅づくり
西濃	揖斐川町 きふ森フェスキックオフイベント「FORESTIVAL IBI」	中津川市 なかつかわの木の道と薬木古事ウォーキングガイド
	揖斐川町 鹿肉のシビエ解体体験	中津川市 銀の森「食べられる森」づくりの現場見学
	揖斐川町 E-BIKEレンタサイクリング	中津川市 薬木古事の森MTBツアー
	揖斐川町 プチグランピング〜手ふら初めてキャンプ〜(キャンプ用品レンタル、食事付)	恵那市 田舎に泊まろう!農家民宿で里山体験
東濃	岐阜市 魚のつかみ取りから調理まで。命を学ぶ野外授業	恵那市 自然な木の形を活かしたパードコール作り体験
	美濃市 世界に一つだけの「ルーベづくり」(楽々コース付)	恵那市 [日程限定]火起こし体験(さきやかプレゼント付)
	美濃市 草木染体験・パンドルダイ エコプリント	恵那市 木を通して学ぶ森の恵み(地元特産品のお土産付)
北濃	郡上市 標高1000mで天空のデイキャンプ体験	下呂市 天空遊歩道ショートコース
	郡上市 早期リフレッシュヨガと地元を味わうジビエディナー	下呂市 大人のための豊かな心を育む森の学び&森林浴
	郡上市 森と大地の恵みを頂くアドベンチャーBBQツアー	高山市 五感をひらく癒しの森林浴
	郡上市 鷺ヶ岳で爽快体験〜森林アスレチック〜	飛騨市 高山市 【奥飛騨温泉郷 福地温泉で音づくりをしてみよう!】1日帰り
	郡上市 バイオマス発電ガイドツアーと古代の火起こし体験	高山市 響々森を満喫する旅(e-Bike & 森林浴)
	郡上市 癒しの森林散策と幸せが訪れるクスクスカップ作り体験	高山市 天空の森を巡る旅(E-Bike & 森林浴)
	郡上市 四輪バギーで森林ドライブ	白川村 E-BIKEサイクリングツアー
南濃	川辺町 山のふもとにまち岐阜朝川町の魅力を満喫する日帰り旅	
	八日守町 [1日1組限定]小さな家「Kildake」宿泊プラン	
	八日守町 雨り傘を使った「木の絵」作り	
	東白川村 思考を手放し心を取り替える森林浴ツアー	

【開催期間】9/28(土)～11/30(土)

掲載されているプログラムの他にも魅力的な体験がいっぱい!

ぎふ森フェス

お申込みのご案内(必ずお読みください)

- 募集型企画旅行:この旅行は三重交通株式会社(以下「当社」という)が企画実施する旅行であり、又の旅行に参加されるお客様は当社企画型企画旅行契約(以下「契約」という)を締結する事になります。また、契約の内容、条件は本サイトに記載されている条件のほか、下記条件、出発前にお渡しする旅行条件書および当社旅行契約放棄集型企画旅行契約の部によります。詳しくは当社ホームページの「詳細」欄をご覧ください。
- お申込みおよび契約成立:電話またはVISIT岐阜県のホームページよりお申込みを執ります。その翌日より3日以内に旅行代金を納めていただき正式契約といたします。ただし、旅行出発日4日前以降のお申込みの場合は、当社が申込みを承諾した時に契約は成立したものとさせていただきます。
- 旅行代金の支払いは:旅行代金は、旅行出発日の前日から計算してきかかるとして、4日より前にお支払いいただきます。4日前以降のお申込みの場合は、お申込みの翌日となります。
- 20歳未満の方のみでの参加の場合は、保護者(親権者)の同意書が必要で、15歳未満以下の未成年者参加の場合は必ずお申し込みいただきます。
- 取消料:お申込み後、お客様都合で取消しになる場合、旅行代金に対して取消料を個人情報の取扱い、お申込み時にいただいた個人情報はお客様との連絡や関係構築に利用させていただきます。必要事項が揃っていない当該機関に提供いたします。詳しくはページの「お問い合わせ」欄をご覧ください。

体験プログラムのお申込み・お問合せ

主催 ぎふ森のある暮らし推進協議会

旅行企画・実施 三重交通グループ ©14 旅行業協会(JATA)正会員 観光庁長官登録旅行業第1534号 総合旅行業務

三重交通株式会社(観光販売システムズ) TEL:050-3775-4727
〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目7番2号 椿本第15ビル2階
<営業時間>10:00～18:00(無休) [お支払の取扱い] カード決済、コンビニ決済、銀行振込

visit 岐阜県 人気のおすすめ体験・観光予約サイト

プラン一覧 トピックス マイページ ヘルプ

(森フェス)【高山市】天空の森を巡る旅 (E-BIKE & 森林浴)

本プランは大自然の中で電動アシストFAT BIKE体験と森林浴体験を行うガイド付き体験ツアーです。旧丸山コピアスキー場をスタートし、船山山頂を目指します。途中、御坂、乗鞍、穂高連峰の雄大な景色を見ながら山頂(標高1,479m)まで駆け上がり、山頂到着後は森林浴体験を行い、五感を解放し、癒しと安らぎを感じていただきます。本プランには地元で作るお弁当とスイーツ、ジュースが付いています。森の中の体験に興味のある方は是非ご参加ください。

※FAT BIKE:軽量の多い電動アシストで走れる燃費が良く印象的な自転車

おひとり様 中学生以上 10,200円

visit 岐阜県 人気のおすすめ体験・観光予約サイト

プラン一覧 トピックス マイページ ヘルプ

(森フェス)【高山市】五感をひらく癒しの森林浴

秋に色づく飛騨高山で、森に包まれる癒しのひとときを過ごしてみませんか?このプランをご案内するのは森林浴の専門家の「森林浴ファシリテーター」です。森に入る前に、科学的根拠に基づいた森林浴の健康効果や、心身に与えるポジティブな影響についてお話します。森の中で美しい木漏れ日、せせらぎの音、森の香りなど、「五感」にアプローチしながらリラクゼーションを深めます。ゆったりと森に包まれて、普段がんばっているところを身体を、ふわりとほぐしましょう。

おひとり様 15歳以上 4,200円

所要時間 約2時間30分
対象年齢 15歳以上
設定期間 2024年10月～2024年11月

※ぎふ森フェスHPより引用
https://gifu.visit-town.com/shinrin/morifes/

森林と健康の新時代

—脱コロナ禍の若者たちへ—

コロナ禍で苦しんだこの3年あまり、最も深刻な影響を受けたのは、育ち盛りの世代です。日常の関係性を作り上げる大切な時期が、コロナ禍の中で過ぎてしまいました。いま注目を集めている「森林サービス産業」の試みには、森林というメディアを通して、若者たちの心や身体をいざいざと蘇らせるためのヒントが詰まっています。本シンポジウムでは、森林サービス産業の第三線で実践的に活動する識者をお招きし、働く人、特に若い世代の健康と森林との関係について議論し、森林と健康の新時代を拓く方策を探ります。

令和5年9月30日(土) 開場 12:30 会場: 東京大学弥生講堂一条ホール
開演 13:00 参加費無料・要参加申込

プログラム

- 13:00~13:05 開会の挨拶
- 13:05~13:40 第1報告 木俣 知大氏
「森林と健康をめぐる諸局面」
- 13:40~14:15 第2報告 安藤 伸樹氏
「働く若者の健康と森林の役割」
- 14:15~14:20 休憩
- 14:20~14:55 第3報告 関本 和彦氏
「新人育成と森林空間、地域社会の役割」
- 14:55~15:30 第4報告 河西 恒氏
「地域戦略としての健康経営」
- 15:30~15:40 休憩
- 15:40~16:50 パネルディスカッション
座長 高山 範理氏
コメンテーター 柴崎 茂光氏
- 16:50~17:00 閉会の挨拶

このシンポジウムは森林分野CPD認定プログラムです。

懇親会

お気軽にご参加ください。
開催: 18:00~
会場: レストラン・アプルボア
(東京大学農学部構内
ファカルティハウス)
会費: 一般5,000円
学生3,000円

参加ご希望の方は <https://forms.god>
申込

主催: 「森林・林業・山」
実行委員長: 山本英穂(宇都宮大学)

【後援】 林野庁、(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所(特非)NPO birth、国土防災技術(株)、(一社)持続可能な産産、全国森林組合連合会、(一社)全国森林レクリエーション協会、全国森林組合連合会、(公財)日本自然保護協会、(公財)日合会、(一社)日本治山治水協会、(一財)日本木材組合連合会、本林業士連合会、(一社)農山漁村文化協会、森林中央

 <p>木俣 知大氏 株式会社とゆめ シニアコンサルタント 東京農業大学大学院修士。国土緑化推進機構助成事業を経て、2021年より長野県に移住し、森林を活用して、分野・セクターを超えた連携・協働による持続可能な地域づくりに向けて、マルチアクトで多様な取組に参画している。</p>	 <p>安藤 伸樹氏 全国健康保険協会理事 昔習得をされ、日本経済の発展に貢献。専門に入社以来30年にわたり日本と米国で勤務。その後、本協会企画開発部長、日本健康保険協会理事を経て、2017年から現職。国民健康保険制度の持続可能性を高めるために日々努力をされている。</p>
 <p>関本 和彦氏 TDKラムダ株式会社 取締役 長野県佐久郡にある森林の活用から2007年から開始し、3年間でTDKラムダの創設と発足し、そこで社員研修を継続している。</p>	 <p>河西 恒氏 しなの市Woods-Life Community 事務局長 愛知県森林メディアカルトレーナー 東京農工大学出身。C.西、ニコル、アプルの森林団体の事業開発を経て、フランスに、医師としてのキャリアをスタートさせ、森林メディアカルトレーナーとしても活動している。</p>
 <p>高山 範理氏 (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 チーム長 (森林空間利用推進担当) 森林空間利用研究員。心理学のアプローチから健康・幸福をキーワードに「森」と「心」を繋ぐ仕事を続けていく。</p>	 <p>柴崎 茂光氏 東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授 埼玉生まれ、東京大学出身。理学部生物科学科を卒業。2007年より現職。研究内容のフィールドを中心に、森林資源を活用した観光や、森林資源に由来した健康・文化の保存に向けた研究を行っている。</p>

3) 社会実装の状況： 「研究者側のサポート」

- ・ 地域社会の持続性をどのように担保していくか？
- 1) リーダーシップの確立とボトルネックの解消
- 2) 地域関係者を主体とした風通しの良い組織化
- 3) 複数の生業を上手く組み合わせた稼ぎ方・雇用の増加(産業化)を担保する

⇒森林空間利用を産業化する方法の収集と共有

- ・ 人をどうやって森林につれていくか？
- 1) 地域や関係者による情報発信の増加
- 2) 森林空間・地域でしかできない体験の提供
- 3) 無関心層・無訪問層へのアプローチ
- ⇒人を森に連れてくる方法論の開発

3) 社会実装の状況：「研究側のサポート」 森林空間利用を産業化する方法の収集と共有

森林所有者による「森林サービス産業」推進事業

【問題意識】

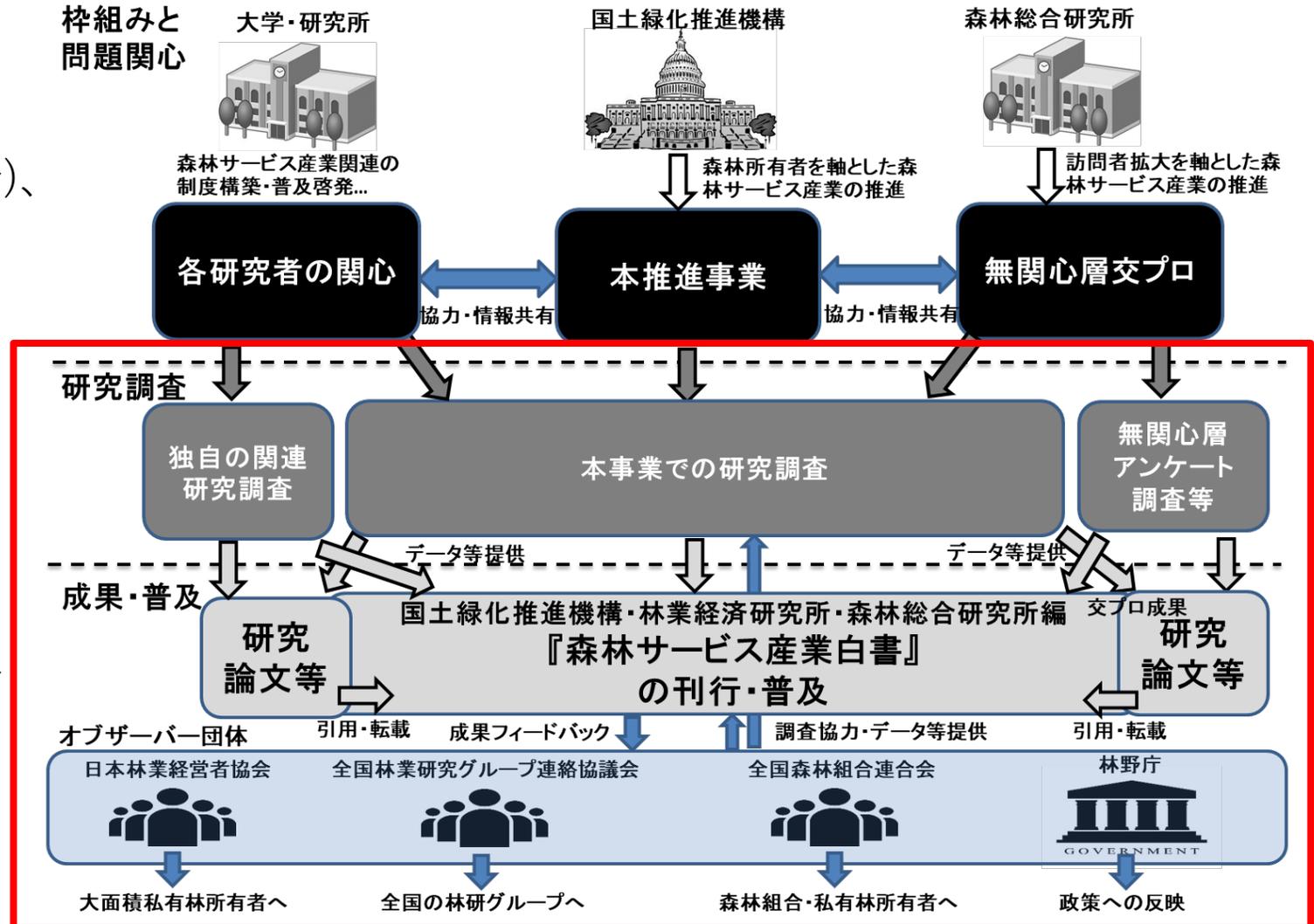
■フィールドを提供し、受け皿となる**森林所有者**を軸に、訪問者(利用者・愛好者)、各種の事業者が、「森林サービス産業」に参入していくに際しての可能性と課題を整理・把握。

■最終的なアウトプットとして「**白書**」を作成して、**事業者等が「森林サービス産業」を導入しやすくする**

【調査対象】

■各種の先進的な取り組みの把握(所有者&事業者)

■国土緑化推進機構 緑と水の森林ファンド中央事業 (R5年度~R7年度)

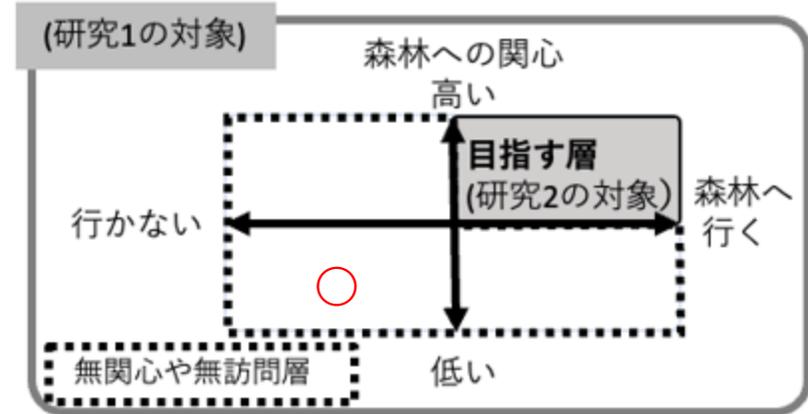


3) 社会実装の状況：「研究側のサポート」

無関心層を取り込んだ森林空間利用促進のためのアウトリーチ手法の提案

- 背景** 都市住民の森林空間活用を促す効果的な情報・働きかけが必要
- 11大都市圏に人口の7割が集中、山村、森林サービス産業へどう誘導するか
 - 都市住民は森林無関心が多いとされるが、その関心程度・利用実態は不明

- 目標**
- 無関心層・無訪問層の実態を解明し、森林訪問意欲を高める方法を提案
 - 森林利用を促進させる森林空間利用施設の整備施策を提示
 - これらにより、森林空間利用を図るアウトリーチ手法を提示



研究内容1

森林無関心層の実態把握

- R5: Webアンケートによる森林関心・利用実態調査
- R6: 訪問、利用阻害要因の分析
- R7: 森林への訪問意欲を高める方法を検討



- 質問紙調査
- 心理指標

結果活用

研究内容2

空間利用拡大のための施設要件の解明

- R5: 施設の抽出、関連情報の整備
- R6: 生物文化サービス享受指標の作成および関連要因の解明
- R7: サービスホットスポット、施設整備のポイント等を把握



- 現地調査
- GIS空間解析

森林空間利用を図る効果的な働きかけ（アウトリーチ）手法の提案

- 森林空間利用を促進する施設整備のあり方
- 森林への興味・関心に応じた効果的な情報提供・教育・普及啓発



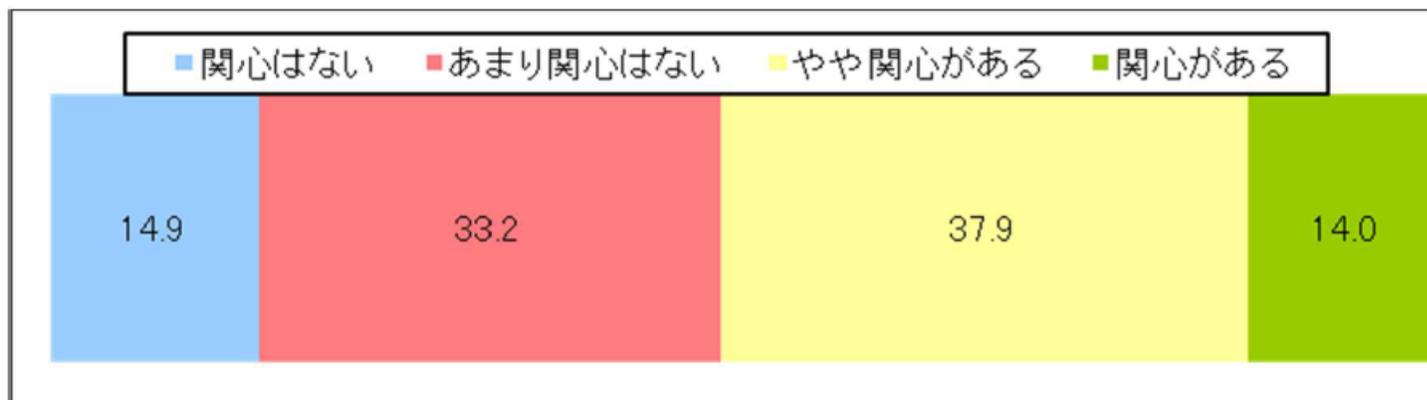
※森林総合研究所交付金プロジェクト | 資料から引用

⇒森林総研の研究者グループが人々を森に連れてくる方法論について真剣に研究しています。

3) 社会実装の状況：「研究側のサポート」

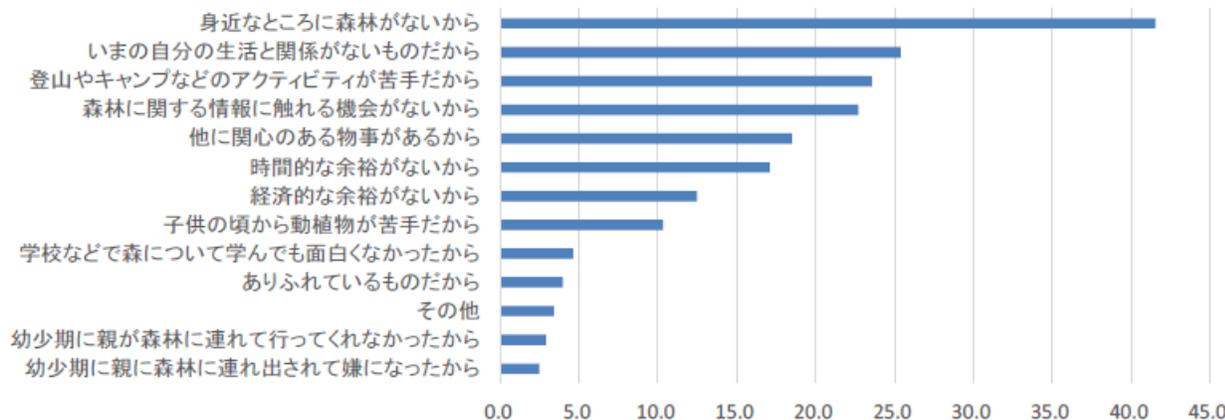
東京23区民5,000人に調査した結果の一部 森林無関心層／関心層の実態

Q9 森林に対しての関心についてお聞きします。日常生活の中で、森林に抱く関心はどの程度でしょうか。最もあてはまるものを一つ選択してください (n=5,000)。



- ・完全な無関心層は約15%
- ・48.1%が無関心寄り
- ・関心寄りは51.9%

関心を持っていない理由は何か

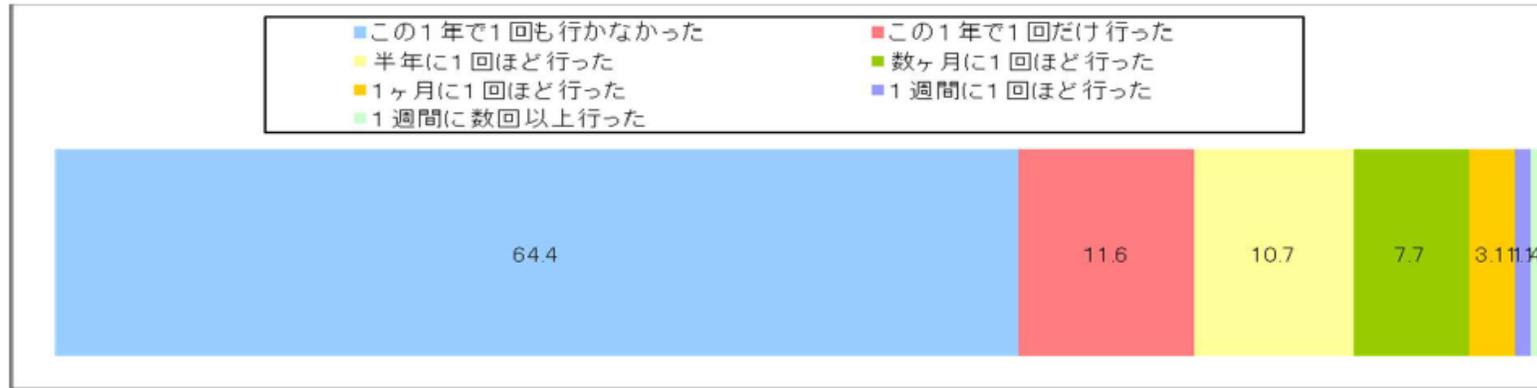


- 48.1%無関心寄り
- ・身近にない
- ・生活と関係ない
- ・屋外活動が苦手
- ・情報がない etc..

3) 社会実装の状況：「研究側のサポート」

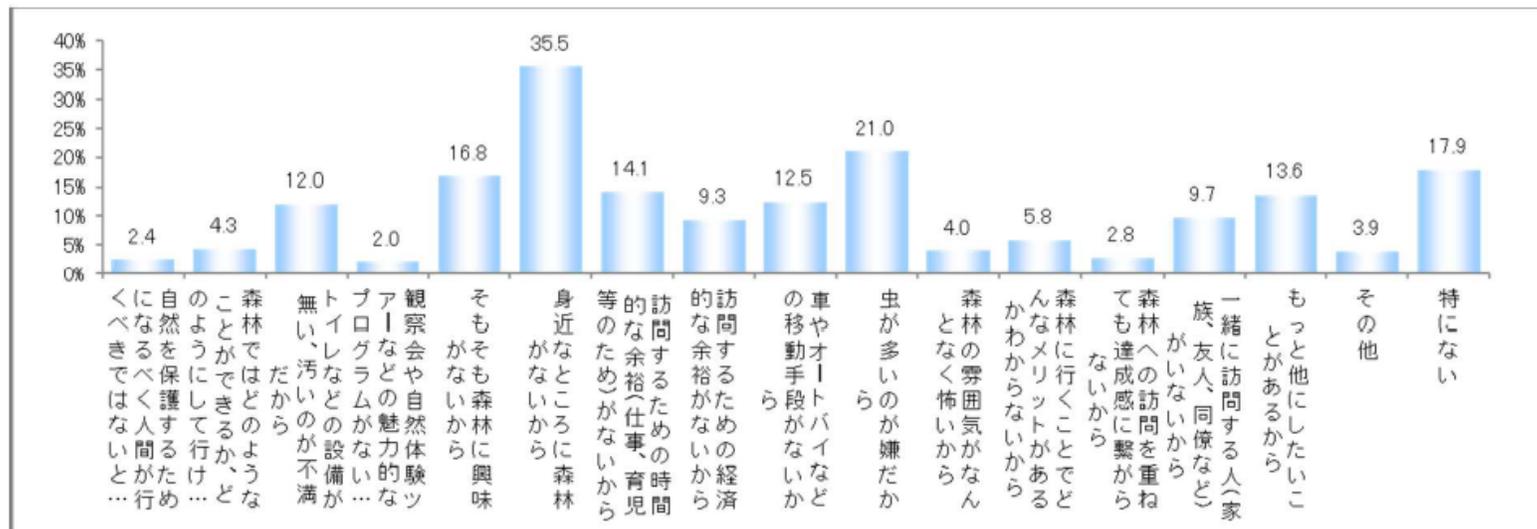
東京23区民5,000人に調査した結果の一部 森林無訪問層／訪問層の実態

Q15 過去1年間での森林への訪問頻度についてお聞きします。この1年で、どれくらい森林（森や林を含む）を訪問しましたか。もっとも自分に当てはまるものをひとつ選択してください(n=5,000)。



訪問度合（年間）

- ・無訪問層：64.4%
- ・1-2回／年：22.3%
- ・数カ月に1度以上の割合：13.3%



無訪問（64.4%）の訪問しない理由

- ・身近にない
- ・虫が多いのが嫌
- ・特に理由はない
- ・森に関心がない
- etc..

おわりに

- 神奈川県：首都圏にあり、都心からのアクセスが非常によい。県内に横浜市・川崎市・相模原市など大規模都市がある
- 都市住民の人々の癒しや健康に対するニーズが非常に高まっており、「異」日常の回復環境として、さらなる利活用が期待できる
- 実は森林セラピー基地・ロードが5か所（秦野市、厚木市、山北町、箱根町、大井町：実は長野県に続いて第2位）もあり、森林サービス産業推進地域1か所ある（小田原市）ことから、県内にノウハウの蓄積がある
- 非常にポテンシャルの高い地域、県内の森林所有者・森林組合・林業関係者の前向きな取り組みを期待したい